

# やってみよう！みんなのお店屋さん

作成日：2023/6/21  
対象児：ふじ組5歳児  
作成者：小城亜矢子

ねらい：地域の行事に興味を持ち、友達や保育者と一緒に準備を楽しむ。



振り返り

もうすぐ夕涼み会があります。「夕涼み会って何？」「夏祭りなん？」「行ったことあるよ」「花火大会とか輪越しとか…」と会話が盛り上がった6月初旬。夕涼み会でお店屋さんをすることにしました。「夏祭りにはどんなお店屋さんがあるかな」と問いかけると、子ども達は絵本を探したり、お家の人に話を聞いたりして、みんなで何のお店屋さんを開くか決めました。ふじ組が開くのは『射的』『ヨーヨー釣り』『かき氷』です。進級当初より自由遊びの時間には廃材を使って製作を楽しんできたこと、私もお店屋さんをすることを見越して、普段から廃材を子ども達の目に届くところに集めていたこともあって「牛乳パックを使ったら？」「ゼリーのカップはどう？」とアイデアがどんどん出てきました。準備を進める中で「うまくできん」「どうやったらええん？」「なんか違う(本物っぽくない)」と子どもが悩む時には製作の本を用意したり、パソコンを使って子ども達と一緒に調べたりもしました。長さや大きさを変えたり、素材を変えてみたりして、自分達が満足できるものができた時には「できた！」「これならいけるで！」とみんなで喜び合いました。自分が遊ぶためではなく、みんなに喜んでもらうために動いている事がすごいなと思います。また、試す→失敗→調べる→成功の経験が子ども達の好奇心や探求心を一層深めていくことを実感しました。今後も製作に関する本や素材、また実際のお祭りの写真などを遊びに取り入れられるよう子どもに見やすいように保育室の環境設定に工夫したいと思っています。子ども達からのこれから地域の文化や行事を経験するともっとイメージが広がってくるだろうなど、どんなお店屋さんに発展するか楽しみです。(社会生活との関わり、思考力の芽生え、数量や図形などへの関心・感覚、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現、協同性)